

『グローバル人材のキャリアにつながる日本語とは…』

みなさん、2025年のサタラボ幕開けは AATJ(全米日本語教育学会)の前会長、高見智子さんにお願いしました。ふだんは、日本語プログラム・ディレクター、外国語上級講師として米国ペンシルベニア大学で教鞭をとっています。ご著書の『中級から伸ばす:ビジネスケースで学ぶ日本語』をお使いの方も多いかと思います。ちょうど、こちらのサタラボのお知らせと同時期の今月末に出版となる『PBI による日本語教育の実践:話す能力を伸ばす授業』の共著者でもあります。世界各国での 100 を超える学会発表、基調講演、受賞歴など、プロフィールを見ると恐れ多いと感じちゃいそうですが、みなさんにご紹介したい理由のひとつは、そのお人柄でもあります。パワフルにして明るく親しみやすいリアル智子さんにぜひお会いください。日本語教育の海外事情もしっかり聞かせてもらいましょう！

さて、本題ですが、みなさんご自身の生徒さんが何のために日本語を学んでいるかご存じですか。日本に旅行したいから？アニメを見るため？試験に合格したいから？日本に移住するため？日本企業で働きたいから？日本人を相手に商売したいから？… ご紹介した新刊のタイトルにあるPBIは、『Proficiency-based-instruction』（プロフィシエンシー重視教育）の略です。留学生、ビジネスパーソンと日本語学習者も学習の目的や目標とするレベルも多様化していますが、今後の日本語教育は、今まで以上に **Proficiency(習熟度)を高める**方向に進んでいくことは間違いないでしょう。また、『ビジネス日本語』とひとことで言っても、ビジネスパーソンだけでなく、将来のビジネスパーソンである学生を対象にしたキャリアデザインや面接など就職支援的な側面、企業文化やビジネス慣習といったビジネス事情・文化の学習も含まれ、協働や異文化理解、異文化コミュニケーション、クリティカルシンキング、問題解決能力など、社会人としての資質を育成する要素も加わってきています。それぞれの職務遂行のために、習った日本語を使いキャリアを積んでいくには、知る、わかるだけでなく、**習熟=使いこなせる**ことが求められます。趣味ではなく、学習者が日本語というスキルを役立てるために学んでいるなら、私たち教師は、**学習者自身が目指すキャリア構築に活かせる授業**を目指しましょう。ワークは**グローバル人材の育成**を目標にした学習活動を考えます。

【講師・高見智子さんからのことば】

念願だったサタラボに登壇させていただくのをとても楽しみにしています。みんなで楽しく、一緒に学び合う、エンパワーメントの時間にしてけたらと思います。よろしく願いいたします。

日時: 2025年1月11日(土)9:00-12:00 開場 8:45 懇親会:12:15-14:00(希望者のみ参加)

会場:東京ビジネス外語カレッジ 402号室(学校法人 ISI 学園 池袋キャンパス内)

<https://www.isi.ac.jp/tbl/about/access/>

対象者:日本語教師・日本語ボランティア教師&日本語教育関係者、他(定員:先着40名)

申込フォーム: <https://forms.gle/qKH8z6HGAw8Afdzd7>

お申し込み後、振込先をお知らせします。お振込完了後、正式にお申し込み受付となります。

参加費: 4,000円(当日キャンセルの場合はご返金できません) 懇親会費:1000円(当日現金払い)

主催:サタラボ:【代表】小山暁子

お問い合わせ:satalabo1@gmail.com 【事務局】伊藤麻友子・森谷智美・渡辺倫弥